



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月9日

上場会社名 H. U. グループホールディングス株式会社 上場取引所 東
コード番号 4544 URL <https://www.hugp.com/>
代表者 (役職名) 代表執行役会長 兼 社長 兼 グループCEO (氏名) 竹内 成和
問合せ先責任者 (役職名) 執行役 兼 CFO (氏名) 村上 敦子 TEL 03-6279-0926
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家、アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	177,511	△11.7	△1,147	-	△2,863	-	△3,345	-
2023年3月期第3四半期	200,963	1.6	23,683	△34.5	23,208	△34.6	18,845	△26.2

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 470百万円 (△97.7%) 2023年3月期第3四半期 20,245百万円 (△26.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	△58.78	-
2023年3月期第3四半期	331.22	331.19

(注) 2023年3月期において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2023年3月期第3四半期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させています。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第3四半期	284,076	143,171	50.4	2,518.30
2023年3月期	297,924	150,047	50.3	2,635.26

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 143,087百万円 2023年3月期 149,972百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	62.00	-	63.00	125.00
2024年3月期	-	62.00	-		
2024年3月期(予想)				63.00	125.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	240,000	△8.0	4,000	△82.9	2,500	△88.6	0	△100.0	0.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	57,473,822株	2023年3月期	57,471,867株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	654,698株	2023年3月期	561,968株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	56,909,004株	2023年3月期3Q	56,894,359株

(注) 当社は信託型株式報酬制度を導入しており、当該信託が保有する当社株式を、期末自己株式数および期中平均株式数の算定上控除する自己株式数に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

2024年3月期の連結業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報および将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績等は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。なお、業績予想の前提となる仮定および業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（2）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料および四半期決算説明会内容の入手方法)

当社は、2024年2月9日（金）に機関投資家およびアナリスト向けに四半期決算説明会をテレフォンカンファレンスにて開催する予定です。この説明会で配布する四半期決算補足説明資料については、決算発表後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績、財政状態及びキャッシュ・フローの状況	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

なお、前第2四半期連結会計期間において行われた企業結合に係る暫定的な会計処理が前連結会計年度に確定しており、前第3四半期連結累計期間の各数値については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の見直しが反映された後の金額によっております。

(1) 経営成績、財政状態及びキャッシュ・フローの状況

① 経営成績の状況

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、長期化するウクライナ情勢に加え、中東情勢の緊迫化など、先行き不透明な状況が継続しております。

わが国においては、2023年5月8日より新型コロナウイルス感染症が感染症法上の分類における5類感染症へ移行し、経済活動は正常化へ向かっておりますが、新型コロナウイルス感染症の感染者数が再び緩やかに増加していることや、世界情勢の緊迫化を背景とした原材料価格やエネルギー価格の高騰など、先行きに注視が必要な状況が続いております。

このような環境の中、当社グループといたしましては2022年10月より稼働を開始しているH. U. Bioness Complexを中心とした業務効率改善によって収益性を向上させ、安定的な事業継続性を実現するための経営基盤の強化に取り組むとともに、アフターコロナを見据えたベース事業の成長に注力しております。

当第3四半期連結累計期間の売上高は177,511百万円（前年同四半期比11.7%減）となりました。主な減収要因は検査・関連サービス事業および臨床検査薬事業における新型コロナウイルス関連検査数の減少です。

利益では、主に検査・関連サービス事業および臨床検査薬事業における新型コロナウイルス関連売上高の減収により減益となりました。その結果、営業損失は1,147百万円（前年同四半期は営業利益23,683百万円）、経常損失は2,863百万円（前年同四半期は経常利益23,208百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は3,345百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益18,845百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

イ. 検査・関連サービス事業

売上では、がんゲノムを始めとした遺伝子関連検査を含むベース事業は伸長したものの、新型コロナウイルス関連検査売上高が減少したことにより減収となりました。これらの結果、売上高は109,959百万円（前年同四半期比11.8%減）となりました。利益では、収益性改善施策による効果の発現があった一方で、新型コロナウイルス関連売上の減収に伴う減益や原材料費の増加等により、営業損失は8,563百万円（前年同四半期は営業利益2,654百万円）となりました。

ロ. 臨床検査薬事業

売上では、円安の好影響もあり、CDMO・原材料供給事業を中心としてベース事業は伸長したものの、主に新型コロナウイルス関連製品の売上高が減少したことにより減収となりました。これらの結果、売上高は46,427百万円（前年同四半期比16.5%減）となりました。利益では、新型コロナウイルス関連製品の減収に伴う減益やグループ内取引の減少に伴う利益減により、営業利益は11,043百万円（前年同四半期比52.9%減）となりました。

ハ. ヘルスケア関連サービス事業

売上では、滅菌関連事業、在宅・福祉用具事業ともに伸長した結果、売上高は21,125百万円（前年同四半期比2.3%増）となりました。利益では、人件費の増加があったものの、主に在宅・福祉用具事業の収益性改善等により、営業利益は938百万円（前年同四半期比13.6%増）となりました。

②財政状態の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ13,848百万円減少し、284,076百万円となりました。その主な要因は、投資その他の資産その他の増加2,888百万円および建物及び構築物（純額）の増加1,743百万円があった一方、流動資産その他の減少9,814百万円、現金及び預金の減少3,783百万円、ソフトウェアの減少3,058百万円および有形固定資産その他（純額）の減少1,913百万円があったためであります。

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ6,972百万円減少し、140,905百万円となりました。その主な要因は、1年内償還予定の社債の増加10,000百万円および長期借入金の増加4,000百万円があった一方、流動負債その他の減少6,563百万円、社債の減少3,900百万円、1年内返済予定の長期借入金の減少3,700百万円、賞与引当金の減少2,724百万円、未払法人税等の減少1,542百万円、支払手形及び買掛金の減少1,116百万円および電子記録債務の減少903百万円があったためであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ6,875百万円減少し、143,171百万円となりました。その主な要因は、為替換算調整勘定の増加3,210百万円があった一方、配当金の支払7,151百万円および親会社株主に帰属する四半期純損失3,345百万円があったためであります。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ0.0%増加し、50.4%となりました。

③キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ3,783百万円減少し、40,402百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により獲得した資金は9,375百万円（前年同四半期19,188百万円の獲得）となりました。その主な要因は、減価償却費15,181百万円、法人税等の還付額6,901百万円および持分法による投資損失1,844百万円があった一方、その他の流動負債の減少額5,554百万円、税金等調整前四半期純損失3,236百万円、賞与引当金の減少額2,813百万円および仕入債務の減少額2,180百万円があったためであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により使用した資金は9,159百万円（前年同四半期24,859百万円の使用）となりました。その主な要因は、有形固定資産の売却による収入1,135百万円があった一方、有形固定資産の取得による支出6,398百万円および無形固定資産の取得による支出4,187百万円があったためであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により使用した資金は4,575百万円（前年同四半期10,854百万円の使用）となりました。その主な要因は、社債の発行による収入6,100百万円および長期借入れによる収入4,000百万円があった一方、配当金の支払額7,123百万円、長期借入金の返済による支出3,700百万円およびファイナンス・リース債務の返済による支出3,235百万円があったためであります。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、2023年11月9日に公表いたしました「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	44,186	40,403
受取手形、売掛金及び契約資産	46,946	48,184
商品及び製品	6,469	5,815
仕掛品	7,072	7,769
原材料及び貯蔵品	8,587	9,154
その他	19,359	9,545
貸倒引当金	△770	△589
流動資産合計	131,851	120,283
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	24,062	25,805
工具、器具及び備品（純額）	21,846	20,128
土地	10,836	10,465
その他（純額）	23,467	21,554
有形固定資産合計	80,214	77,953
無形固定資産		
のれん	4,453	4,535
顧客関連無形資産	1,956	1,946
ソフトウェア	22,186	19,127
その他	16,776	17,787
無形固定資産合計	45,373	43,396
投資その他の資産		
投資有価証券	6,997	6,303
その他	33,558	36,446
貸倒引当金	△165	△411
投資その他の資産合計	40,390	42,338
固定資産合計	165,977	163,688
繰延資産	95	104
資産合計	297,924	284,076

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,512	19,396
電子記録債務	1,800	897
1年内償還予定の社債	—	10,000
1年内返済予定の長期借入金	3,700	—
未払金	12,368	12,342
未払法人税等	1,782	239
賞与引当金	6,256	3,532
その他	17,950	11,387
流動負債合計	64,371	57,794
固定負債		
社債	35,000	31,100
長期借入金	25,000	29,000
退職給付に係る負債	6,609	6,756
資産除去債務	1,576	1,569
株式給付引当金	743	55
補償損失引当金	562	597
債務保証損失引当金	264	114
その他	13,750	13,917
固定負債合計	83,506	83,110
負債合計	147,877	140,905
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,274	9,279
資本剰余金	24,996	25,001
利益剰余金	112,422	101,907
自己株式	△2,060	△2,256
株主資本合計	144,633	133,932
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	118	599
為替換算調整勘定	7,140	10,350
退職給付に係る調整累計額	△1,919	△1,794
その他の包括利益累計額合計	5,339	9,155
新株予約権	74	83
純資産合計	150,047	143,171
負債純資産合計	297,924	284,076

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	200,963	177,511
売上原価	127,934	128,798
売上総利益	73,028	48,712
販売費及び一般管理費	49,344	49,860
営業利益又は営業損失(△)	23,683	△1,147
営業外収益		
受取利息	147	335
受取配当金	49	89
為替差益	582	406
出資金運用益	276	—
その他	243	251
営業外収益合計	1,299	1,083
営業外費用		
支払利息	279	292
持分法による投資損失	1,315	1,844
その他	179	662
営業外費用合計	1,774	2,800
経常利益又は経常損失(△)	23,208	△2,863
特別利益		
固定資産売却益	2,622	433
段階取得に係る差益	758	—
事業譲渡益	—	377
その他	26	69
特別利益合計	3,407	880
特別損失		
固定資産除却損	60	863
投資有価証券評価損	88	295
その他の投資評価損	217	—
その他	430	94
特別損失合計	796	1,253
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	25,819	△3,236
法人税、住民税及び事業税	3,934	2,149
法人税等調整額	3,039	△2,040
法人税等合計	6,974	108
四半期純利益又は四半期純損失(△)	18,845	△3,345
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	18,845	△3,345

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	18,845	△3,345
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,301	480
為替換算調整勘定	2,549	3,210
退職給付に係る調整額	152	125
その他の包括利益合計	1,400	3,816
四半期包括利益	20,245	470
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	20,245	470

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	25,819	△3,236
減価償却費	14,312	15,181
のれん償却額	133	220
為替差損益(△は益)	△304	△760
持分法による投資損益(△は益)	1,315	1,844
売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)	5,153	△754
棚卸資産の増減額(△は増加)	△1,776	△60
仕入債務の増減額(△は減少)	△921	△2,180
賞与引当金の増減額(△は減少)	△2,951	△2,813
固定資産除却損	60	863
段階取得に係る差損益(△は益)	△758	—
未払消費税等の増減額(△は減少)	△1,760	795
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△317	△843
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△3,989	△5,554
その他の固定負債の増減額(△は減少)	809	931
その他	△1,909	△1,282
小計	32,915	2,350
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△13,617	6,901
その他	△110	123
営業活動によるキャッシュ・フロー	19,188	9,375
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△10,592	△6,398
有形固定資産の売却による収入	2,677	1,135
無形固定資産の取得による支出	△6,218	△4,187
子会社株式の取得による支出	△8,983	—
出資金の払込による支出	△563	△529
差入保証金の回収による収入	124	528
その他	△1,303	292
投資活動によるキャッシュ・フロー	△24,859	△9,159
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	4,000
長期借入金の返済による支出	△3,621	△3,700
社債の発行による収入	—	6,100
自己株式の取得による支出	△1	△987
配当金の支払額	△7,118	△7,123
短期借入金の純増減額(△は減少)	3,000	—
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△3,190	△3,235
その他	77	371
財務活動によるキャッシュ・フロー	△10,854	△4,575
現金及び現金同等物に係る換算差額	526	576
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△15,999	△3,783
現金及び現金同等物の期首残高	46,479	44,185
現金及び現金同等物の四半期末残高	30,480	40,402

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(会計上の見積りの不確実性に関する追加情報)

当第3四半期連結会計期間における新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積りおよび当該見積りに用いた仮定については、前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した内容から重要な変更はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	検査・関連 サービス 事業	臨床検査薬 事業	ヘルスケア 関連サービ ス事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	124,705	55,616	20,641	200,963	—	200,963
セグメント間の内部 売上高又は振替高	212	5,939	15	6,167	△6,167	—
計	124,918	61,555	20,657	207,131	△6,167	200,963
セグメント利益	2,654	23,459	825	26,939	△3,256	23,683

(注) 1. セグメント利益の調整額△3,256百万円は、セグメント間取引消去12,640百万円および各報告セグメントに配分していない全社費用△15,896百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

第3四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「臨床検査薬事業」のセグメントにおいて、ADx NeuroSciences NVおよびFluxus, Inc. を連結子会社としたことにより、のれんを計上しております。当該事象によるのれんの増加額は、第3四半期連結累計期間においては4,149百万円であります。

なお、のれんの金額は、暫定的な会計処理の確定に伴う見直し反映後の金額であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	検査・関連 サービス 事業	臨床検査薬 事業	ヘルスケア 関連サービ ス事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	109,959	46,427	21,125	177,511	—	177,511
セグメント間の内部 売上高又は振替高	214	4,279	4	4,497	△4,497	—
計	110,173	50,706	21,129	182,009	△4,497	177,511
セグメント利益又は損 失(△)	△8,563	11,043	938	3,417	△4,564	△1,147

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△4,564百万円は、セグメント間取引消去11,546百万円および各報告セグメントに配分していない全社費用△16,111百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第3四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。